



甲斐ある情熱

(24)

甲斐市から「復興」への架け橋を

甲斐市職員(陸前高田市へ派遣) 相川 瑞穂 さん

平成23年3月11日、突然大きな揺れに襲われ、今までにない恐怖を感じたことを記憶しています。連日中継される被災地の状況を見ても、私には仕事を投げ出して被災地へ向かう勇気もなく、もどかしさを感じていました。そんな時、被災地への派遣職員の募集があり、「復興の力になりたい」、その一心で派遣職員に手を挙げました。

陸前高田市では建設課道路河川係に配属され、主に予算管理と補助金関係事務を担当しています。私と同じく全国各地から派遣されている職員は平成27年度現在96人で、担当する業務は多岐にわたりますが、「復興」という大きな目標に向かって業務に励んでいます。

今年は10年間の復興期間の折り返しの年となります。市街地のかさ上げ事業の中枢を担い、復興のシンボルであったベルトコンベヤー「希望の架け橋」が昨年9月に操業を終了し、

現在解体作業が行われています。かさ上げされた土地には、商業施設等の建設も予定され、住居の高台移転、災害公営住宅への入居も徐々に始まりました。しかし、いまだに1,300世帯が仮設住宅で暮らし、震災前24,000人以上あった人口は、現在20,000人を切るうとしています。街の形は徐々に見えてきました。こうした現状をみると復興への道のりは、まだまだ遠いといえます。

震災により一時休止していた「ふるさと納税」を平成27年7月から「陸前高田市がんばっぺし応援寄付金」として再開しました。震災からもう間もなく丸5年がたちますが、被災地では震災前の日常をまだ取り戻していません。みなさんの中から震災の記憶を風化させない、そのことが今、復興の大きな力になります。

● 陸前高田市ウェブサイト

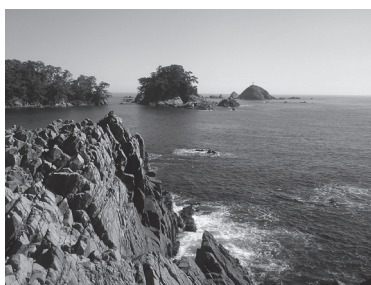
<http://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/>



高台(今泉地区) 造成の様子 (H27.6)



「希望の架け橋」撤去後の様子 (H28.1)



三陸復興国立公園「広田崎の海岸」

Profile プロフィール

甲斐市職員。平成27年4月から陸前高田市への派遣職員(平成29年3月末までの2年間)として勤務。